

事業所名

さいふく さいふくⅡ

## 支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和8年

3月

31日

法人（事業所）理念		幼児期からの教育がいかに重要かという中で、5年後、10年後を見据えた時に一人ひとりが主体的に生き、社会的にも経済的にも自立していくことを目的としていきます。							
支援方針		「できた」を「できる・楽しい」と自信をもって喜びに変えていけるよう、一人ひとりの個性を把握した上で可能性を最大限に伸ばしていけるように経験の積み重ねを促していきます。							
支援時間		通常日	学校終了後	から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土曜日 長期休暇	10時	0分から	16時	0分まで		(場所によって要相談)	
支 援 内 容									
本人 支 援	健康・生活	家庭や学校等で必要な基本的生活動作の習得、生活習慣の形成を支援します。 ・鞆や靴を所定の場所へしまう、おやつのごみを捨てる等の身辺自立 ・来所時やおやつの前、トイレ後には手を洗ってしっかりと拭く等の日常生活動作の習慣							
	運動・感覚	運動や制作といった様々な活動や遊びを通して体幹や感覚を刺激します。 ・感覚統合遊具・平均台・大縄跳び・マット運動等を使用した運動機能面の活動 ・ハサミや折り紙を用いた季節ごと制作・スライムや粘土・運筆等机上での活動							
	認知・行動	様々な活動を行う上で必要なルールや約束（決められた所に並び、順番で行う）を通して集団行動に必要な力を促します。 ・場面毎の切り替えをタイマー等を使用することで、意識して自身で動けるようになる。							
	言語 コミュニケーション	遊びや活動における職員や友達同士の要求や関わり方のスキルの向上、獲得を促します。 ・音読やソーシャルスキルトレーニング等の活動の実施、場面毎の挨拶、要求や承諾、拒否等の伝え方をその場面でしっかり伝える。							
	人間関係 社会性	遊びや活動におけるルールや関わり方、距離感等今後の学校生活、社会生活に適應していくために必要なスキルの向上、獲得を促します。 ・集団活動時、ルールや順番を事前に説明し実際に行動できるか見守り、アプローチする。 ・様々な場面（貸して、入れて、一緒に遊ぼう等）における職員や友達への接し方、伝え方を見守り、必要に応じて介入しアプローチする。							
家族支援		必要時いつでも相談（対面、電話、line）できる体制、環境の設定 必要に応じて関係機関と連携し情報の共有等行う				移行支援			
地域支援・地域連携		学校等の関係機関との情報共有、他の事業所との交流 地域のイベントへの参加				職員の質の向上		定期的な全体会議や事例検討、日々の活動の振り返り 毎月外部講師による勉強会	
主な行事等		季節毎のイベント（正月遊び、お花見、イチゴ狩り、プール、運動会、ハロウィン、クリスマス会等） 外出企画等							